

2016.7.20

マレック・シュパキエヴィッチ チェロ・リサイタル

《開催概要》

ヨーヨー・マ氏や作曲家ジョン・コリリアーノ氏から賞賛される、稀代のチェロ奏者マレック・シュパキエヴィッチが二度目の来日を果たし、リサイタルを開催いたします。

マレック・シュパキエヴィッチはポーランド出身。現在はロサンゼルス在住で、ヨーロッパ各国とアメリカでソリストとして活躍。これまでにアン・アキコ・マイヤース、リン・ハレルなどの名高い音楽家と共演するほか、映画音楽の編曲、後進の指導と多岐にわたって活動しています。2015年3月の初来日リサイタルは、「自身の中に深い音楽世界を内包している稀有な音楽家」、「技術と感性と知性が均衡した演奏」、「一つひとつの音を精魂込めて追求しながら丹念に情景を描いていく独自の解釈は、芸術的高みへと収斂」との賛辞を批評家から受けました。

彼自身が日本の方のために特別に考えた今回のプログラムは、彼のルーツとなるスラヴ系作曲家と、自身の音楽の方向性を位置づけたという、アメリカ生まれの作曲家をメインとした、シュパキエヴィッチならではのラインナップによって構成。同郷人として誇りと親密な気持ちをもつショパン「序奏と華麗なポロネーズ」や、チェロのために書かれた最も美しいソナタの1つと名高いラフマニノフ「チェロ・ソナタ」、そしてチェロ用に自らアレンジしたガーシュウィン「3つの前奏曲」など、シュパキエヴィッチの経歴と信念に基づいた魅力あふれる演奏が披露されることでしょう。ピアノはアメリカで室内楽奏者、器楽伴奏者として活躍、五嶋みどり氏の伴奏者も務める実力派、ジアイ・シーです。

また本公演の収益金の一部は、福島県相馬市でエル・システムジャパンが運営する「相馬子どもオーケストラ」へ寄付されます。シュパキエヴィッチは東日本大震災後から積極的に震災支援に取り組み、「相馬子どもオーケストラ」へ自ら足を運び、演奏指導・子どもたちとの交流を通じて「顔の見える支援」も行いました。リサイタル当日には「相馬子どもオーケストラ」とのサプライズも用意されています。

ヨーロッパの気品を漂わせながらも、現代では稀有となった骨太なシュパキエヴィッチの演奏は、聴き手の心を揺さぶります。スラヴの哀愁とアメリカの躍動感を感じる、高揚と感動をご期待ください。

名 称	マレック・シュパキエヴィッチ チェロ・リサイタル
日 時	2016年10月29日(土) 16:00 開演 / 15:30 開場
会 場	トッパンホール
後 援	駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター、エル・システムジャパン
制 作	株式会社 1002

本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3 階

株式会社 1002[イチマルマルニ]

Tel. 03-3264-0244 / Fax. 03-3264-1788

公演担当= 石野真利子[イシノ マリコ] ishino@1002.co.jp / 原 肖奈[ハラ ニナ] nina@1002.co.jp

《公演概要》

プログラム

ショパン／序奏と華麗なポロネーズ Op.3

シューマン／幻想小曲集 Op.73

バーバー／チェロ・ソナタ ハ短調 Op.6

ラフマニノフ／チェロ・ソナタ ト短調 Op.19

ガーシュウィン(シュパキエヴィッチ編)／3つの前奏曲

出演者

マレック・シュパキエヴィッチ Marek Szpakiewicz 【チェロ】

ポーランド生まれロサンゼルス在住のチェロ奏者マレック・シュパキエヴィッチは、ヨーヨー・マ氏から「エネルギー、モチベーション、真摯さ、そして寛容な心を持っていることが自明なアーティスト」と評され、ピューリッツァー賞を受賞した作曲家ジョン・コリアーノ氏から「シュパキエヴィッチ氏が演奏した私の作品『バッハのアリアによるファンシー (Fancy on a Bach Air)』は、素晴らしく華麗である」と、高い評価を得ている。

ポーランドのルブリン市にて6歳からチェロを始める。渡米し、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院でスティーヴン・ケイツ氏に師事。その後、南カリフォルニア大学ソロートン音楽学校でエレノア・ショーンフェルド女史に学び、音楽修士号と音楽芸術博士号を取得。

数々の国際コンクールで優勝、入賞し、ヨーロッパ各国とアメリカでソリストとして活躍。「天賦の才能ある演奏家」、「壮大なビジョンと計り知れない説得力を持つ」、「際限のない技術性」などと賞賛された。ポーランドとアメリカのラジオ局では生演奏が放送されるほか、非営利クラシック音楽放送局として全米一の規模を誇るKUSC局では、1時間の特別番組が制作された。イギリスの弦楽器雑誌『Strad』では、『ブロッホ：ヘブライ狂詩曲「シェロモ」』のライブレコーディングに対して、「スコアを著しく正確に実現化したもの」と好評を受けた。

これまでアン・アキコ・マイヤース、岩崎洸などの名高い音楽家と共演している。また、グラミー賞を多数受賞したジャズ歌手のボビー・マクファーリンの歌と『ヴィヴァルディ：2つのチェロのための協奏曲』で共演し、マクファーリン氏には「彼の演奏技術は超絶そのもの、彼の音楽に対する真剣さ、誠実さとカリスマ的な性格によって生まれた素晴らしいパフォーマンスは、世界の人々に心の豊さを味わう機会を与えた。」と絶賛された。

そのほか、オーケストラ編曲の分野でも活躍し、映画音楽作曲家ヤン・A・P カチュマレク氏の作品に携わる。共同で手掛けた映画音楽『ネバーランド』は2005年第77回アカデミー作曲賞を受賞。同氏の映画音楽では、リチャード・ギア主演『HACHIー約束の犬』(09年夏公開)や松井久子監督の『レオニー』(10年秋公開)などで、印象的なソロを聴かせた。

08年アメリカ政府から「特殊で卓越能力をもつアーティスト」として永住権を授与された。アメリカ国内はもとより国際的称賛が継続し、これまでの業績が認められたためである。

11年には東日本大震災チャリティーコンサートを企画し、ロサンゼルス郡参事よりその献身的活動に対して表彰を受けた。12年の創設時から福島県相馬市のエル・システムジャパンをコンサートや文化交流を通じて支援している。

15年の東京でのデビューリサイタルは、「一つひとつの音を精魂込めて追求しながら丹念に情景を描いていく独自の解釈は、芸術的高みへと収斂」、「生命体としての音楽を自らのメッセージとともに纏め上げていく濃密な表徴は印象的」、「技術と感性と知性が均衡した演奏」、「自身の中に深い音楽世界を内包している稀有な音楽家」と評価された。

現在、カリフォルニアのアズサ・パシフィック大学音楽学部で教鞭をとり、室内楽のディレク

ターを務める。

使用楽器は1870年製ヴィオーム。

ジアイ・シー Jiayi Shi 【ピアノ】

上海出身。上海音楽院の予備学校を経て渡米。イーストマン音楽学校で音楽修士号及びピアノ・ソロの演奏家資格を取得、さらにニューヨークのマンハッタン音楽学校の音楽芸術博士号を取得。現在、室内楽奏者、器楽伴奏者として活躍している。

モーストリー・モーツァルト音楽祭にて、ヴァイオリニストの五嶋みどり氏と共演しニューヨーク・デビューを果たす。以来、サンフランシスコのデイヴィス・シンフォニーホール、ロンドンのセント・ルークス・ホールなど世界的にも著名なホールで室内楽演奏会に出演。また、ロサンゼルス・フィルハーモニック コンサートマスターのマーティン・チャリフォー、ソリストの五嶋龍及びバイエルン放送交響楽団の首席奏者コルビニアン・アルテンベルガーの各氏と定期的に共演している。

最近では、ワシントン DC のケネディ・センターでのリサイタル、KBS(韓国)テレビ番組「Classical Odyssey」にて五嶋みどり氏と共演、ミュンヘン、レーゲンスブルク(ドイツ)、名古屋でのリサイタル・ツアー、トロント(カナダ)でのラジオ出演、また、五嶋みどり氏との現代音楽の録音プロジェクトや、ヴァイオリニスト スーリー・シュエとの中国民族音楽のコラボレーションなど、多岐にわたった活動に才能を発揮し、情熱を注いでいる。

これまで南カリフォルニアのバイオラ大学及びシエラ大学の教師を務めるほか、アメリカの都市部から離れた地域にクラシック音楽を広めるための財団「Partners in Performances」の関連マスタークラスを開いたり、また韓国や中国でも授業を行うなど後進の指導にも精力的にあたっている。

料 金

¥4,500 (全席指定・消費税込)

プレイガイド

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222 (営業時間/10:00~18:00 日祝休)

チケットぴあ[Pコード:301-439] 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

お問い合わせ

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラム・曲順が変更になる場合がございます。

※未就学児の同伴、ご入場はご遠慮ください。